

専門家に学ぶ

年間を通して、ゲストティーチャーや学習ボランティア等、外部の方と連携した教育を進めてきました。その中の一部を紹介します。

2年 地域に学ぶ

生活科「町たんけんにいこう」では、立野の地域にある公共施設やお店、農家の方のところへ出かけ、いろいろなお話を伺いました。利用者のために施設が行っていること、お店の方がどんな仕事をしているのか、畑ではどのような野菜をどのように育てているのかなど、たくさんのお話を学ぶことができました。お忙しい中、子供たちの学習に笑顔で対応していただき、地域の温かさや地域のよさをたくさん感じる事ができました。



3年 バナナうんちで元気な子！

「特定非営利活動法人日本成人病予防協会」の方をお招きし、生活リズムについて楽しくお話をいただきました。体の消化・吸収の仕組みや便の種類などを映像で見たり、「ウンコでサンバ」を踊って排便をする大切さを実感したりしたことで、“早寝早起き朝ご飯”という自分の生活リズムを見直すよい機会となりました。



4年 バリアフリー教室

総合的な学習の時間の「伝えよう つながろう」では、国土交通省関東運輸局、(株)西武バス、(株)東基のご協力をいただき、バリアフリー教室を行いました。体育館でのアイマスク体験、車いすを使ったノンステップバスの乗降体験等を通して、みんなが暮らしやすい社会にしていけるために、自分にどのようなことができるだろうということを考えることができました。



5年 「ショートショート」書き方講座

作家である田丸先生をお招きし、自由な発想から物語を書くポイントを教えていただきました。普段は組み合わせないような言葉と言葉をつなぐことでユニークな発想が次から次へと生まれ、個性あふれる作品が出来上がりました。「次はどうなる？」と自問自答していくことが書く上で有効であるということを知り、「書くことは本来楽しいことである」と改めて実感できました。



6年 留学生が先生

ブルガリア人のヴェロニカさんとウズベキスタン人のアジマさんをゲストティーチャーとして招き、それぞれの国の挨拶の仕方や町の様子、遊び、食べ物、民族衣装などを楽しく分かりやすく紹介してもらいました。留学生の先生たちの日本や祖国への思いを聞き、その国への興味が広がったり、自分の生き方を考えたりする有意義な時間となりました。



心を育てる ~立野の生活指導~

1年間を振り返って

もうすぐ平成27年度が終わります。1年前の子供たちの姿と今の姿を比べると、心も体も、ずいぶん成長していることに、改めて気付かされます。

子供たちの誰もが、学習や行事・生活など様々な場面で、新しくできるようになったこと・しっかり身に付いたことがたくさんあります。その経験の中で、自分への自信も付いたことでしょう。またその反面、できなかったことや、やり残したことがあるかもしれません。

一年の終わりは、次の年へ向けての準備の時でもあります。この1年間の成長を確かめることで、来年の新たな目標につなげていけるよう、「まとめの3月」を大切にして、学習や生活の振り返りをしっかりと行いたいと思います。